

	前回（2021年1月判断）	2021年4月判断	前回との比較*
北海道	新型コロナウイルス感染症の影響から引き続き厳しい状態にあり、足もとでは持ち直しのペースが鈍化している	新型コロナウイルス感染症の影響から引き続き厳しい状態にあり、 <u>横ばい圏内の動きとなっている</u>	↘
東北	厳しい状態にあるが、持ち直しの動きがみられている	基調としては持ち直しているが、足もとは <u>サービス消費を中心に新型コロナウイルス感染症再拡大の影響が強まっているとみられる</u>	↘
北陸	厳しい状態にあるが、持ち直しつつある	厳しい状態にあるが、持ち直しつつある	⇒
関東甲信越	引き続き厳しい状態にあるが、持ち直している。ただし、足もとではサービス消費を中心に感染症の再拡大の影響がみられている	<u>サービス消費を中心に引き続き厳しい状態にあるが、基調としては持ち直している</u>	⇒
東海	厳しい状態が続く中でも、持ち直している	厳しい状態が続く中でも、持ち直している	⇒
近畿	新型コロナウイルス感染症の影響により、依然として厳しい状態にあるが、全体として持ち直しの動きが続いている	新型コロナウイルス感染症の影響により、依然として厳しい状態にあるが、全体として持ち直している。 <u>もっとも、まん延防止等重点措置が実施されるもとで、サービス消費への下押し圧力は強い状態にある</u>	⇒
中国	新型コロナウイルス感染症の影響から、依然として厳しい状態にあるが、持ち直しの動きが続いている	新型コロナウイルス感染症の影響から、依然として厳しい状態にあるが、持ち直しの動きが続いている	⇒
四国	新型コロナウイルス感染症の影響から一部に足踏み感もあるが、全体としては持ち直しの動きがみられている	新型コロナウイルス感染症の影響から一部に弱い動きもみられるが、 <u>全体としては持ち直しの動きが続いている</u>	⇒
九州・沖縄	厳しい状態にあるものの、持ち直しつつある	厳しい状態にあるものの、 <u>輸出・生産を中心に持ち直しつつある</u>	⇒

*前回との比較の△、↘は、前回判断に比較して景気の改善度合いまたは悪化度合いの変化を示し、前回に比較し景気の改善・悪化度合いが変化しなかった場合は、⇒となる。